

経営計画説明会 「YASKAWA IR Day 2026」

モーションコントロール ACサーボ・コントローラ事業

2026年6月1日（月）

株式会社 安川電機

前中期経営計画「Realize 25」の成果と課題

「Realize 25」の成果

方針① i³-Mechatronicsを軸とした トータルシステム提案によるシェア拡大

- i³-Mechatronics展開事例蓄積
- ターゲットカスタムとの協創実施

方針② お客様のコトを実現する コンポーネントの製品拡充

- iCube Control製品化
- Σ-Xシリーズ拡充
- 用途最適製品拡充

方針③ 自動化と需要地生産強化による 需要変動に追従した生産体制の構築

- モーションコントロール工場（埼玉県入間市）の自動化拡大
- 中国拠点工場への自動化展開と生産機種数の拡大
- 内製化拡大（モータシャフトなど）

方針④ データ環境整備によるYDX活用推進

- カスタム評価（データ）の開発へのフィードバック実施

「Realize 25」の課題に基づく 「Dash 35」方針展開

課題

- 成長市場の確実な捕捉

方針① フィジカルAI市場の徹底攻略

課題

- サーボ市場の変化への追従
- AIロボティクス含む新規市場対応の製品開発

方針② 新規ビジネスの創出

課題

- i³-Mechatronicsの展開不足
- 日・中でシェア低下

方針③ i³-Mechatronicsの実践展開

課題

- 地域戦略に基づく製品投入のスピードアップ
- ダントツのコア製品開発による製品競争力強化

方針④ 4極開発体制の再構築

課題

- 自動化・内製化の更なる拡大（DDモータ、リニア）
- YDXの進化による生産競争力強化

方針⑤ YDXの進化によるモノづくり革新

グローバルトップシェアを確保してi³-Mechatronicsにより収益力を拡大する

基本方針1 フィジカルAI市場の徹底攻略

基本方針2 新規ビジネスの創出

基本方針3 i³-Mechatronicsの実践展開

基本方針4 4極開発体制の再構築

基本方針5 YDXの進化によるモノづくり革新



i³-Mechatronics
i³-Singularity

方針 1 フィジカルAI市場の徹底攻略

フィジカルAI市場の変化を捉え コア製品によりお客さまをグローバルで徹底攻略



方針 2 新規ビジネスの創出（進化型アクチュエータ）

フィジカルAI市場の拡大へ
モーションコントロール事業の製品ポートフォリオに進化型アクチュエータを拡充

フィジカルAI市場

モーションコントロール事業の製品ポートフォリオ



進化型アクチュエータ



ヒューマノイド
における実証
(東京ロボティクス)



市場開拓

安川の技術の強みを生かした
基幹コンポーネントの提供

事業化

製品の量産化
応用展開

方針 3 i³-Mechatronicsの実践展開

i³-Mechatronics実践によって蓄積されたノウハウを地域戦略に合わせて展開

日本

更なる実践によるノウハウ蓄積とダントツコア製品の進化

米州

一般産業市場のシェア拡大
(物流・包装等)

i³-Mechatronicsの実践



中国

コントローラを中心に置いた
価値提案による開拓拡大

欧州

ソリューションビジネス強化で
重点顧客の着実な拡大

方針 4 4極開発体制の再構築（日・中・欧・米）

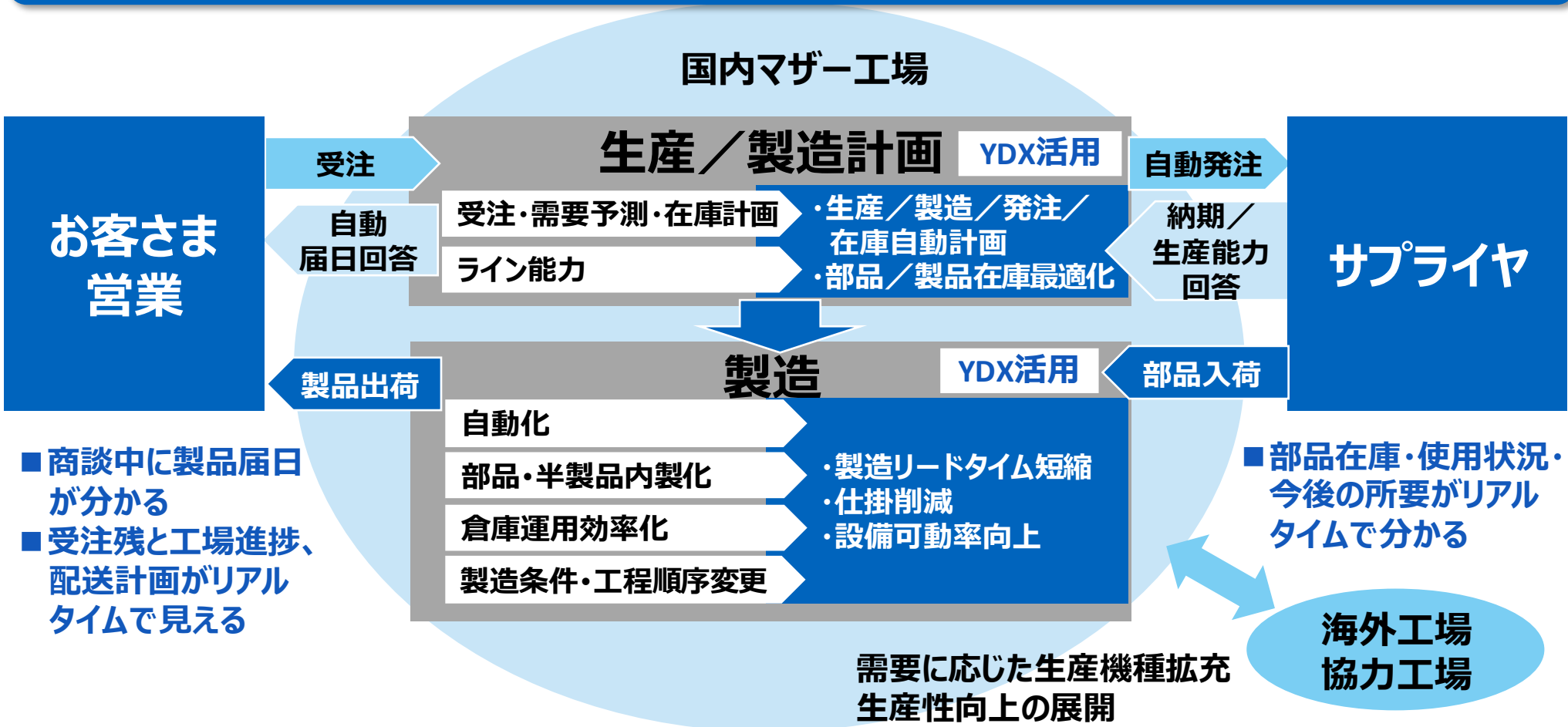
各開発拠点の自走化によりローカル競合メーカーに勝つスピーディな開発を実現



方針 5 YDXの進化によるモノづくり革新

需要変動に強い生産体制確立とAIを活用したモノづくりの高度化

お客さま・営業・工場・サプライヤをデータで連携し、全体最適による経営スピードを高める



YASKAWA